

# 依田林業新聞

## 安全管理を機能させるためには

安全管理を考えるためには、まず「安全とは何か」がポイントになります。安全とは、「受け入れられないリスクがないこと」と言われます。機能させるためには、継続することができる能力が必要になってきます。

- ① 「何かが起こった時に反応できる能力」
- ② 「何が重要であるかを理解できる能力」
- ③ 「予測できる能力」
- ④ 「学習できる能力」

悪いことを減らすのではなく、上手くいくことを増やすことで、より安全な状態になる。



### ○ Why (なぜ) 型思考と、What (なに) 型思考

「もっと考えて仕事しろ!」若い頃一度や二度言われた言葉ではないでしょうか。「考えること」とは、人により2つの比較があります。

「なぜだろう?」と「なんだろう?」似ていますが、考える上で重要な思考回路なのです。

言われたことだけやる人(What)、言われたこと以上に考えてやる人(Why)とは全然違います。なぜだろう?と考えるようにすることで、仕事に対しても、安全管理に対しても、先読みをした行動が出来るのではないのでしょうか。



発行所

(有) 依田林業  
塩山事務所  
総務部

前向きになれる一言  
「しなければならぬ」と思うと、つまらなくなる。「してみたい」と思うと、勇気が湧いてくる。

## 新年度に向けての取り組み

新年度に向けて、もう一度安全に対しての見直しをしていきましょう。道具の手入れと整理の徹底、安全施工サイクル、安全ルール、KY活動の確認。新しく仕事を始める前に、安全に作業取り組めるように、確認しましょう!一番大事なことは、体調管理!食生活の改善、ストレッチも率先しましょう。

- ☆道具の手入れ
- ☆道具の整理整頓
- ☆身の周りの片付け
- ☆重機の点検
- ☆車両の整備
- ☆不足品の補充

### 依田林業の安全ルール

- ㊦ 常日頃、仕事をする前に初心に還る
- ㊧ 現場を綺麗に保つ
- ㊨ 効率・速さよりも、安全・丁寧を優先する
- ㊩ 常に冷静な判断をする
- ㊪ 必ず2人以上で作業する
- ㊫ 身体と道具・機械に思いやりを持つ
- ㊬ 道具・刃物の手入れは毎日行う
- ㊭ 必ず指導者になってもらうように作業を行う
- ㊮ 自分の仕事に誇りを持つ



### KYは3つの言葉を入れよう

- 〜するとき 作業内容、なるべく具体的に。例「玉掛け」→「玉掛けで切取るとき」
- 〜なので 作業時に危険の原因。例「ワイヤーと荷物間に指を入れて」
- 〜になる 結果、どんな事故になるか。例「はさまれる」、他は「墮落する」「頭をぶつける」など

・まずは、作業内容を具体化しよう。同じ作業が連日続いても、どの作業に注目するかで、見えてくる危険は違うはず。  
・曖昧な作業設定では、曖昧な危険しか見つからない。